

(平成~~27~~28年度実施分)

自己評価実施要項

高等専門学校機関別認証評価
付 選択の評価事項

独立行政法人
大学評価・学位授与機構

はじめに

この自己評価実施要項は、独立行政法人大学評価・学位授与機構（以下「機構」という。）が定める高等専門学校評価基準に基づき実施する高等専門学校機関別認証評価において、対象高等専門学校が評価を受ける際に行う自己評価の方法等について記載したものです。

また、高等専門学校評価基準とは別に定める選択的評価事項に基づき、機構が独自に行う第三者評価における自己評価の方法等についても併せて記載しています。

本要項の構成は、第1章、第2章、第3章からなります。

「第1章 評価の内容等」では、機構が実施する本評価の基本的な内容等を記載しています。

「第2章 自己評価の方法等」及び「第3章 自己評価書等の作成及び提出方法」では、各対象高等専門学校が行う自己評価の具体的方法や自己評価書の具体的な作成及び提出方法等について記載しています。

各対象高等専門学校においては、本要項をもとに適切かつ効果的な自己評価を実施してください。

目 次

はじめに	-----	i
第 1 章 評価の内容等	-----	1
I 評価の対象	-----	1
II 評価の内容	-----	1
III 実施時期	-----	1
IV 自己評価のプロセス	-----	2
第 2 章 自己評価の方法等	-----	3
I 目的の記載	-----	3
1 目的の意義	-----	3
2 目的と高等専門学校評価基準との関係	-----	3
3 目的の記載に当たっての留意事項	-----	3
II 基準 1～11の自己評価	-----	4
1 基準ごとの自己評価のプロセス	-----	4
2 基本的な観点及び独自に設定する観点	-----	4
3 観点ごとの分析	-----	4
4 優れた点及び改善を要する点の記述	-----	5
5 概要の記述	-----	5
III 選択的評価事項 A、Bに係る目的の記載	-----	6
IV 選択的評価事項 A、Bの自己評価	-----	6
1 選択的評価事項の自己評価のプロセス	-----	6
2 目的の達成状況の判断	-----	6
第 3 章 自己評価書等の作成及び提出方法	-----	7
I 自己評価書の構成及び様式	-----	7
1 自己評価書の構成	-----	7
2 自己評価書「本文編」の様式	-----	7
II 自己評価結果等の記述要領	-----	7
1 高等専門学校の現況及び特徴	-----	7
2 目的	-----	9
3 基準ごとの自己評価	-----	10
4 選択的評価事項に係る目的	-----	12
5 選択的評価事項の自己評価	-----	12
6 根拠となる資料・データ等の示し方（「資料編」について）	-----	14
III 自己評価書「本文編」イメージ	-----	15
1 高等専門学校機関別認証評価	-----	15
2 選択的評価事項に係る評価	-----	16
IV 自己評価書の提出方法	-----	17
1 提出方法	-----	17
2 提出締切及び提出先	-----	17
3 その他	-----	18
別 紙 1 高等専門学校機関別認証評価のスケジュール	-----	19
別 紙 2 自己評価の根拠となる資料・データ等の例	-----	21
参考資料 評価報告書イメージ	-----	45

第1章 評価の内容等

I 評価の対象

国・公・私立高等専門学校のうち、評価の申請のあった高等専門学校（以下「対象高等専門学校」という。）を対象として、評価を実施します。

II 評価の内容

本評価は、各対象高等専門学校の教育研究活動や管理運営及び財務等の総合的な状況を対象にして、機構が定める「高等専門学校評価基準」に基づいて実施します。高等専門学校評価基準は、11の基準で構成されています。

11の基準は、教育活動を中心として高等専門学校の教育研究活動等の総合的な状況を評価するためのものであり、基準ごとにこれを満たしているかどうかの判断を中心とした評価を実施します。

また、高等専門学校評価基準とは別に、機構が独自に行う第三者評価として、「選択的評価事項」を定め、高等専門学校の希望に応じて高等専門学校評価基準とは異なる側面から高等専門学校の活動等を評価します。

選択的評価事項には、選択的評価事項A「研究活動の状況」と選択的評価事項B「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」の2つを設けています。それぞれの選択的評価事項では、各高等専門学校が有する目的の達成状況等の評価を実施します。なお、各高等専門学校は、それぞれの選択的評価事項について、評価を受けるか否かを選択することが可能です。

III 実施時期

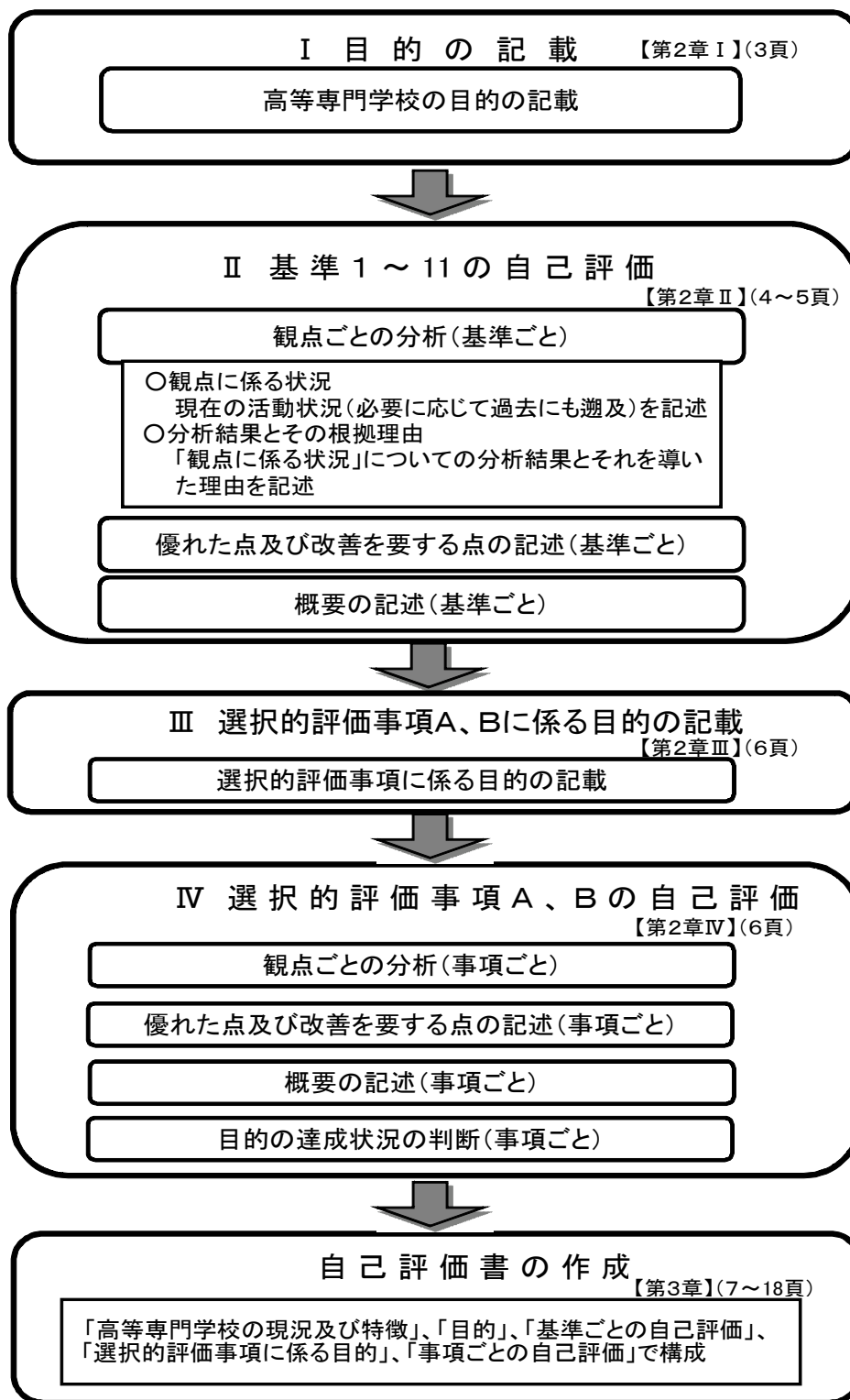
評価実施の前年度8月下旬	高等専門学校機関別認証評価に関する説明会、自己評価担当者等に対する研修会の実施
〃 9月末	評価の申請受付締切
評価実施年度6月末	対象高等専門学校からの自己評価書の提出締切
〃 7月～	書面調査及び訪問調査の実施
〃 1月末	評価結果を確定する前に評価結果（案）を対象高等専門学校に通知
〃 2月下旬	対象高等専門学校からの意見の申立ての受付締切
〃 3月下旬	評価結果の確定及び公表

（注） 評価全体のスケジュールは、別紙1「高等専門学校機関別認証評価のスケジュール」（19頁）に示すとおりです。

IV 自己評価のプロセス

本評価においては、対象高等専門学校が行う自己評価が重要な位置を占めています。
対象高等専門学校においては、機構が定める高等専門学校評価基準及び選択的評価事項に基づき、自己評価を実施してください。

自己評価のプロセス



第2章 自己評価の方法等

I 目的の記載

1 目的の意義

本評価における高等専門学校「目的」とは、各高等専門学校の使命、教育研究活動等を実施する上での基本方針、及び、養成しようとする人材像を含めた、達成しようとしている基本的な成果等をいいます。

目的の記載に当たっては、このことを踏まえ、高等専門学校が現在周知・公表している目的及びその目的から派生する内容も含めて、高等専門学校の個性や特色が活かされるよう考慮してください。

また、高等専門学校の「目的」という名称で明文化されていない場合であっても、各高等専門学校の使命、教育研究活動等を実施する上での基本方針、及び、養成しようとする人材像を含めた、達成しようとしている基本的な成果等を定めている場合には、それを記載してください。

なお、高等専門学校の「目的」には、学則等に定めている学科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育上の目的が含まれます。

2 目的と高等専門学校評価基準との関係

高等専門学校機関別認証評価は、高等専門学校評価基準に基づき、各高等専門学校の教育研究活動等の総合的な状況について、基準を満たしているかどうかの判断を中心とした評価を実施します。基準の内容は高等専門学校の個性や特色が十分に発揮できるよう、教育研究活動等に関して各高等専門学校が有する目的を踏まえて評価を行うよう配慮しています。

そのため、本評価の実施に当たっては、対象高等専門学校が目的を明示し、目的に照らして自己評価を行うことが必要です。機構が評価を実施するに当たって、各基準において、この目的を踏まえることにより高等専門学校の個性や特色が評価に反映されることとなります。

3 目的の記載に当たっての留意事項

目的の記載に際しては、次のことに留意してください。

(1) 高等専門学校として期間を定めた目標等を有する場合

高等専門学校がその運営に関する期間を定めた目標等を有している場合には、その目標等の達成状況等を評価に反映させることも可能です。その際には、その目標等の基本的な内容を目的として位置付け、記載することが必要です。

(2) 学科・専攻科等ごとの目的を記載する場合

学科ごとの目的の記載に当たって、準学士課程共通の目的がある場合には、まず課程共通の目的を記載した上で、学科ごとに目的を記載してください。

(専攻科又はその専攻ごとに独自の目的がある場合も、同様に記載してください。)

Ⅱ 基準 1～11の自己評価

1 基準ごとの自己評価のプロセス

基準ごとの自己評価は、高等専門学校評価基準に示された1～11の基準ごとに、①「観点ごとの分析」、②「優れた点及び改善を要する点の記述」、③「概要の記述」の流れで行います。

なお、自己評価では基準を満たしているかどうかの判断を行う必要はありません。

(注) 機構における評価では、基準ごとに、高等専門学校の目的を踏まえて基準を満たしているかどうかの判断を行います。基準を満たしているかどうかの判断は、基準における全ての観点の分析状況を総合して行いますので、一部に問題があると分析された観点があつたとしても、これが直ちに当該基準を満たしていないとの判断に結び付くわけではありません。

2 基本的な観点及び独自に設定する観点

(1) 基準ごとの自己評価を実施する際には、まず、基準に対応して示された基本的な観点に従って高等専門学校の教育研究活動等を分析する必要があります。基本的な観点は、当該基準を満たしているかどうかを判断するための重要な要素となりますので、自己評価においては、全ての基本的な観点到る状況の分析を行ってください。(ただし、「・・・の場合」といった条件が付されている基本的な観点について、これに該当しない場合には分析を行う必要はありません。また、その際には「該当なし」と記述してください。)

観点ごとの分析は、結合することなく観点的番号ごとに行ってください。

なお、必要な観点的分析を行っていない場合や観点的内容を逸脱した分析を行っている場合などで、機構の評価において当該基準を満たしているかどうかの判断ができない場合には、その基本的な観点的状況の分析の補充を求めることがあります。

(2) 各高等専門学校において、基本的な観点到に加えて、高等専門学校の状況や目的に応じて独自の観点的設定が必要と考えられる場合があります。こうした場合には、各基準に対応した独自の観点的を適切に設定したうえで分析を行ってください。

3 観点的ごとの分析

(1) 基本的な観点到及び高等専門学校が独自に設定した観点的の分析に当たっては、観点的ごとに、「観点到に係る状況」、「分析結果とその根拠理由」を記述してください。

① 「観点到に係る状況」については、目的との関連を踏まえて、自己評価書提出時までの間の自己評価が可能な現在の状況を記述してください。この際、取組や活動の内容等の客観的事実について、具体的に記述してください。

(記述が具体的ではない例)

- ・学生による授業評価の結果を踏まえて、授業改善を実施している。
- ・評価結果を改善に活かしている。
- ・活発に活動している。
- ・多くの成果を上げている。
- ・高く評価されている。
- ・学生の満足度が高い。

また、当該観点の状況が明確になるよう、現在に至るまでの経緯や過去の状況も含めるなど、根拠となる資料・データ等を示しつつ、それぞれの状況に応じて適切に記述してください。

なお、各観点に関して、高等専門学校がその目的を達成するための具体的な目標や計画を有している場合には、その内容を明らかにした上で、状況の分析を行うことにより、目標等の達成状況を評価に反映させることが可能です。また、それにより対象高等専門学校の個性や特色を表すことができます。

- ② 「分析結果とその根拠理由」は、「観点に係る状況」についての分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を、「観点に係る状況」に記載した根拠となる資料・データ等を摘示しつつ記述してください。

- (2) 別紙2「自己評価の根拠となる資料・データ等の例」(21～44頁)には、基本的な観点に従って分析を行う際に必要と考えられる資料・データ等を例示してありますので、適宜参考にしてください。これらはあくまでも例示であり、必ずしも全く同じ資料・データ等を要求するものではありません。各高等専門学校の目的や状況等に応じた資料・データ等を用意してください。

- (3) 観点ごとの分析に当たっては、高等専門学校全体としての状況の分析を行い記述します。その際、観点の性格・内容により、学科・専攻科等ごとの状況の分析が必要な場合は、それらの分析を踏まえて行ってください。

また、基準5以外の基準において、観点の性格・内容により、課程別(準学士課程・専攻科課程の別)に分析が必要な場合には、高等専門学校全体としての状況の分析を行い記述した上で、課程別に「観点に係る状況」、「分析結果とその根拠理由」を記述してください。

4 優れた点及び改善を要する点の記述

基準ごとに観点の分析の中から目的を踏まえて、特に重要と思われる点を「優れた点」、「改善を要する点」として抽出し、記述してください。なお、抽出する点がない場合は、「該当なし」と記述してください。

5 概要の記述

基準ごとに観点の分析を整理し、当該基準全体に係る自己評価の概要を記述してください。

概要は、当該基準全体の自己評価の状況を社会に分かりやすく示すために、機構が実施した評価の結果の報告書(以下「評価報告書」という。)に原則として原文のまま転載します。対象高等専門学校においては、そのことに留意し、自己評価書との整合性を確認した

上で、記述してください。

Ⅲ 選択的評価事項 A、Bに係る目的の記載

選択的評価事項の評価を希望する場合には、各高等専門学校の目的の記載に加えて、選択的評価事項に係る目的の記載が必要です。

選択的評価事項に係る目的の記載に当たっては、高等専門学校が有する目的のうち、評価を希望する事項に対応するものを記載してください。

なお、選択的評価事項においては、目的の達成状況等を評価することから、当該事項に係る目的が重要な位置を占めることとなりますので、目的の内容を具体的かつ明確に記載してください。

Ⅳ 選択的評価事項 A、Bの自己評価

1 選択的評価事項の自己評価のプロセス

選択的評価事項の自己評価は、選択的評価事項 A、Bの事項ごとに、①「観点ごとの分析」、②「優れた点及び改善を要する点の記述」、③「概要の記述」、④「目的の達成状況の判断」の流れで行います。①～③については、前記「Ⅱ 基準 1～11の自己評価」に準じます。

2 目的の達成状況の判断

選択的評価事項の目的の達成状況は、選択的評価事項に係る目的に照らし、「観点ごとの分析」の結果を総合した上で、4段階で判断してください。

なお、以下の「判断の際の考え方」を目安に、「判断を示す記述」を用いて、目的の達成状況の判断を行ってください。

判断を示す記述	判断の際の考え方
目的の達成状況が非常に優れている	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が非常に優れており、目的に照らして全体の達成状況が非常に優れていると判断される場合
目的の達成状況が良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が優れており、目的に照らして全体の達成状況が良好であると判断される場合
目的の達成状況がおおむね良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に改善すべきところはあるが、目的に照らして全体の達成状況がおおむね良好であると判断される場合
目的の達成状況が不十分である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に問題があり、目的に照らして全体の達成状況が不十分であると判断される場合

第3章 自己評価書等の作成及び提出方法

I 自己評価書の構成及び様式

1 自己評価書の構成

自己評価書は「本文編」及び「資料編」の2種類があります。

自己評価書「本文編」の構成については、「Ⅲ 自己評価書イメージ」（15～16頁）を参照してください。自己評価書「資料編」の構成については、特に定めません。

なお、高等専門学校機関別認証評価及び選択的評価事項に係る評価の自己評価書は、それぞれ別に「本文編」、「資料編」を作成してください。

2 自己評価書「本文編」の様式

自己評価書は、下記及び「Ⅱ 自己評価結果等の記述要領」に沿って、作成してください。自己評価書「本文編」様式ファイルは、機構のウェブサイト (<http://www.niad.ac.jp/>) に、MS-Word版を用意していますので、適宜ダウンロードしてください。

- (1) 自己評価書「本文編」は、A4縦長・横書きで作成してください。
- (2) 原則として、日本語は明朝体で全角、英字は明朝体で半角、一桁の数字は明朝体で全角、二桁以上の数字は明朝体で半角をそれぞれ使用してください。
- (3) 「高等専門学校の現況及び特徴」のページ以降、中央下に通し番号を付けてください。
- (4) 各ページの右上に高等専門学校名を記述してください。（表紙を除く。）
- (5) 「基準ごとの自己評価」及び「選択的評価事項」のページには、各ページの右上に(4)の高等専門学校名に加え、基準の番号又は選択的評価事項の記号を記述してください。

Ⅱ 自己評価結果等の記述要領

1 高等専門学校の現況及び特徴

高等専門学校の現況及び特徴は、機構において評価を実施する際の参考とするとともに、評価報告書に原則として原文のまま掲載し、社会に分かりやすく紹介するためのものです。

この趣旨を踏まえ、以下の内容構成によって2,000字（横25字×縦40行×2段×1ページ）以内で簡潔に記述してください。なお、フォントは明朝体9ポイントを使用してください。

(1) 現況

① 高等専門学校名

高等専門学校の名称を記述してください。

② 所在地

高等専門学校の本部の所在地とし、都道府県、市町村名まで記述してください。(東京特別区の場合は区名まで記述してください。)

③ 学科等の構成

設置されている学科・専攻科を、全て記述してください。

④ 学生数及び教員数

評価実施年度の5月1日現在における学科・専攻科の学生数及び教員数を記述してください。ただし、教員数については、休職者や長期海外渡航者を除く専任教員(教授、准教授、講師、助教)及び助手の現員数を記述してください。

(2) 特徴

高等専門学校の沿革・理念を踏まえ、また、目的の背景となる考え方等も含め、高等専門学校の特徴が表れるように記述してください。

○○高等専門学校

I 高等専門学校の現況及び特徴

1 現況

(1) 高等専門学校名

○○高等専門学校

(2) 所在地

○○県○○市

(3) 学科等の構成

学科：○○学科、○○学科

専攻科：○○専攻

(4) 学生数及び教員数

(平成○○年5月1日現在)

学生数：学科○○人

専攻科○○人

専任教員数：○○人

助手数：○○人

2 特徴

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

【高等専門学校の現況及び特徴】

評価実施年度の5月1日現在における学生数及び教員数を記述してください。

なお、(3) 学科等の構成と併せて学科・専攻科ごとの学生数及び教員数を表により示すこともできます。

(参考例)

学生数						単位:人
専攻科課程	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	合計
○○学科						
○○学科						
○○学科						
計						

専攻科課程			1学年	2学年	合計
○○専攻					
計					

教員数							単位:人
区分	教授	准教授	講師	助教	助手	合計	
○○学科							
○○学科							
○○学科							
計							

- 8 -

2 目的

- (1) 第2章の「I 目的の記載」を踏まえ、高等専門学校を目的を4,000字（横50字×縦40行×2ページ）以内で記載し、フォントは明朝体9ポイントを使用してください。
- (2) 記載内容は、原則として原文のまま、評価報告書に掲載し公表します。

○○高等専門学校

II 目的

1 ←

2 ←

3 ←

..... ←

(学科・専攻科等ごとの目的)

..... ←

..... ←

..... ←

..... ←

-2-

【高等専門学校の目的】

各高等専門学校の使命、教育研究活動等を実施する上での基本方針、及び、養成しようとする人材像を含めた、達成しようとしている基本的な成果等について記載してください。適宜、項立てをしたり、箇条書きにするなど分かりやすく記載してください。

学科・専攻科等ごとの目的を記載してください。また、準学士課程・専攻科課程ごとに共通の目的がある場合にも同様に記載してください。

3 基準ごとの自己評価

- (1) 第2章の「Ⅱ 基準1～11の自己評価」を踏まえ、基準ごとに「観点ごとの分析」と「優れた点及び改善を要する点」を合わせて5,000字以内を字数の制限目安として記述し、フォントは明朝体10.5ポイントを使用してください。

その上で、基準ごとに基本的な観点の数が異なりますので、基準ごとの字数の制限を踏まえつつ、基準1から基準11までの「観点ごとの分析」と「優れた点及び改善を要する点」を合わせて、全体で55,000字以内（字数制限）で調整して記述してください。

また、記述に当たっては、基準ごとにページを改めてください。

- (2) 「自己評価の概要」については、基準ごとに1,000字以内を字数の制限目安として記述し、フォントは明朝体10.5ポイントを使用してください。

その上で、基準ごとの字数の制限目安を踏まえつつ、全体で11,000字以内（字数制限）で調整して記述してください。

- (3) 「自己評価の概要」の記述内容は、原則として原文のまま、評価報告書に掲載し公表します。

○○高等専門学校 基準1

Ⅲ 基準ごとの自己評価

基準1 高等専門学校の目的

(1) 観点ごとの分析

観点1-1-①： 高等専門学校の目的が、それぞれの学校の個性や特色に応じて明確に定められ、その内容が、学校教育法第115条に規定された、高等専門学校一般に求められる目的に適合するものであるか。また、学科及び専攻科ごとの目的も明確に定められているか。

(観点に係る状況)

. (資料編P.○/資料1-1-①-○)

(分析結果とその根拠理由)

.

.

∴

∴

自己評価書様式ファイルに記載されています。

当該観点の状況が明確になるよう記述してください。

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

以下、同様に、当該基準に係る観点について分析してください。

4 選択的評価事項に係る目的

- (1) 第2章の「Ⅲ 選択的評価事項A、Bに係る目的の記載」を踏まえ、選択的評価事項に係る目的を事項ごとに2,000字（横50字×縦40行×1ページ）以内で記載し、フォントは明朝体9ポイントを使用してください。
- (2) 記載内容は、原則として原文のまま、評価報告書に掲載し公表します。

【選択的評価事項に係る目的】

○○高等専門学校 選択的評価事項A

Ⅲ 選択的評価事項A 「研究活動の状況」

1 選択的評価事項A「研究活動の状況」に係る目的

(1)

(2)

(3)

選択的評価事項に係る目的を具体的かつ明確に記載してください。適宜、項立てをしたり、箇条書きにするなど分かりやすく記載してください。

←

選択的評価事項Bを希望する場合には、同様に記述してください。

5 選択的評価事項の自己評価

- (1) 第2章の「Ⅳ 選択的評価事項A、Bの自己評価」を踏まえ、事項ごとに「観点ごとの分析」、「優れた点及び改善を要する点」を合わせて7,000字以内（字数制限）で記述し、フォントは明朝体10.5ポイントを使用してください。
- (2) 「自己評価の概要」については、事項ごとに1,000字以内（字数制限）で記述してください。また、記述に当たっては、事項ごとにページを改めてください。
- (3) 「自己評価の概要」の記述内容は、原則として原文のまま、評価報告書に掲載し公表します。

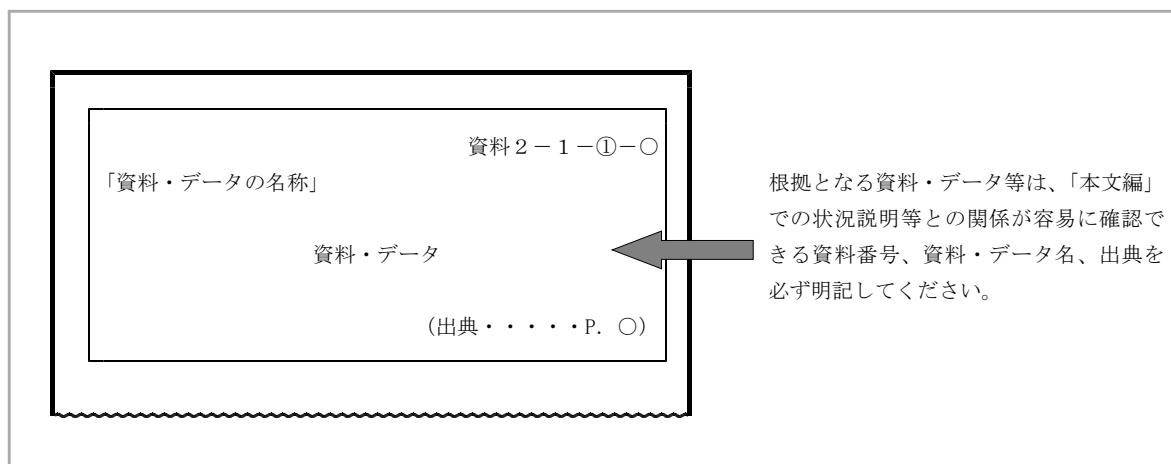
6 根拠となる資料・データ等の示し方（「資料編」について）

- (1) 資料・データ等は、原則として、「資料編」としてまとめたものを作成してください。（各資料はコピーの貼付や差込でも構いません。）「資料編」の様式は特に定めませんが、資料ごとに資料番号を、「資料編」全体には通しページ番号を付した上、各資料の掲載ページが分かるように目次を作成してください。また、インデックスを付すなど参照しやすさに配慮してください。

自己評価書「本文編」の「観点に係る状況」に記述した状況説明等との関係が容易に確認できるよう「本文編」文中には、記述に対応する各資料の「資料編」での掲載ページ、資料番号を記載してください。

なお、自己評価書「本文編」（上述の「資料編」を除く。）は、機構のウェブサイトに掲載しますので、特に個人情報等の不開示情報や著作権等に関わる事項は、必ず別添「資料編」に記載の上、当該事項は別添「資料編」中でも墨消し加工を施すなど、留意が必要です。

- (2) 資料・データ等には、その名称や出典（該当ページ番号を含めて）を必ず明記してください。
- (3) 資料・データ等の記載に際し、縮小して貼付する場合等には、内容が明確に判別できるようにしてください。判別の困難な資料・データ等については、再提出していただく場合もありますので、注意してください。
- (4) 資料・データ等には、対象高等専門学校で作成した自己点検・評価報告書や外部検証（評価）報告書の該当部分等も活用できます。
- (5) 機構の評価にあたり、資料・データ等が不足していると判断される場合には、関係資料の追加提出を求めることがあります。
- (6) 資料・データ等を、「資料編」に記載できない場合は、別途機構にご相談ください。
- (7) 別紙2「自己評価の根拠となる資料・データ等の例」（21～44頁）に、根拠となる資料・データ等の例示を掲載しましたので、適宜参考にしてください。



Ⅲ 自己評価書「本文編」イメージ

1. 高等専門学校機関別認証評価

高等専門学校機関別認証評価

自己評価書

平成〇〇年〇月
〇〇高等専門学校

〇〇高等専門学校

目次

I 高等専門学校の現況及び特徴…………… 1

II 目的…………… 2

III 基準ごとの自己評価

 基準1 高等専門学校の目的…………… 〇

 基準2 教育組織（実施体制）…………… 〇

 基準3 教員及び教育支援者等…………… 〇

 基準4 学生の受入…………… 〇

 基準5 教育内容及び方法…………… 〇

 :

 :

 :

基準11 管理運営…………… 〇

〇〇高等専門学校

I 高等専門学校の現況及び特徴

1 現況	2 特徴
(1) 高等専門学校名……………	……………
(2) 所在地……………	……………
(3) 学科等の構成……………	……………
……………	……………
……………	……………
(4) 学生数及び教員数……………	……………
……………	……………
……………	……………
……………	……………

- 1 -

〇〇高等専門学校

II 目的

1 ……………

2 ……………

・

・

(学科・専攻科等ごとの目的)

- 2 -

〇〇高等専門学校 基準1

III 基準ごとの自己評価

基準1 高等専門学校の目的

(1) 観点ごとの分析
(観点に係る状況)
(分析結果とその根拠理由)

(2) 優れた点及び改善を要する点
(優れた点)
(改善を要する点)

(3) 基準1の自己評価の概要

- 〇 -

- 〇 -

- 〇 -

〇〇高等専門学校 基準2

基準2 教育組織（実施体制）

(1) 観点ごとの分析
(観点に係る状況)
(分析結果とその根拠理由)

(2) 優れた点及び改善を要する点
(優れた点)
(改善を要する点)

(3) 基準2の自己評価の概要

- 〇 -

- 〇 -

- 〇 -

〇〇高等専門学校 基準3

基準3 教員及び教育支援者等

(1) 観点ごとの分析
(観点に係る状況)
(分析結果とその根拠理由)

(2) 優れた点及び改善を要する点
(優れた点)
(改善を要する点)

(3) 基準3の自己評価の概要

- 〇 -

- 〇 -

- 〇 -

……………

〇〇高等専門学校 基準11

基準11 管理運営

(1) 観点ごとの分析
(観点に係る状況)
(分析結果とその根拠理由)

(2) 優れた点及び改善を要する点
(優れた点)
(改善を要する点)

(3) 基準11の自己評価の概要

- 〇 -

- 〇 -

- 〇 -

注) は、評価報告書に原則として原文のまま転載します。

2. 選択的評価事項に係る評価

選択的評価事項に係る評価

自己評価書

平成〇〇年〇月
〇〇高等専門学校

〇〇高等専門学校

目次

I 高等専門学校の現況及び特徴…………… 1

II 目的…………… 2

III 選択的評価事項〇 〇〇〇〇……………

IV 選択的評価事項〇 〇〇〇〇……………

〇〇高等専門学校

I 高等専門学校の現況及び特徴

1 現況	2 特徴
(1) 高等専門学校名……………	……………
(2) 所在地……………	……………
(3) 学科等の構成……………	……………
……………	……………
……………	……………
(4) 学生数及び教員数……………	……………
……………	……………

※高等専門学校機関別認証評価と同じ現況及び特徴を転載します。

- 1 -

〇〇高等専門学校

II 目的

1 ……………

2 ……………

・

・

(学科・専攻科等ごとの目的)
※高等専門学校機関別認証評価と同じ目的を転載します。

- 2 -

〇〇高等専門学校 選択的評価事項〇

III 選択的評価事項〇 〇〇〇〇

1 選択的評価事項〇「〇〇〇〇」に係る目的

(1)……………

(2)……………

- 〇 -

〇〇高等専門学校 選択的評価事項〇

2 選択的評価事項〇「〇〇〇〇」の自己評価

(1) 観点ごとの分析
(観点に係る状況)
(分析結果とその根拠理由)

(2) 優れた点及び改善を要する点
(優れた点)
(改善を要する点)

(3) 選択的評価事項〇の自己評価の概要

(4) 目的の達成状況の判断

- 〇 -

〇〇高等専門学校 選択的評価事項〇

IV 選択的評価事項〇 〇〇〇〇

1 選択的評価事項〇「〇〇〇〇」に係る目的

(1)……………

(2)……………

- 〇 -

〇〇高等専門学校 選択的評価事項〇

2 選択的評価事項〇「〇〇〇〇」の自己評価

(1) 観点ごとの分析
(観点に係る状況)
(分析結果とその根拠理由)

(2) 優れた点及び改善を要する点
(優れた点)
(改善を要する点)

(3) 選択的評価事項〇の自己評価の概要

(4) 目的の達成状況の判断

- 〇 -

注 1) は、評価報告書に原則として原文のまま転載します。
 注 2) 選択的評価事項に係る評価を希望する場合のみ作成します。

IV 自己評価書の提出方法

1 提出方法

(1) 自己評価書「本文編」、「資料編」 各20部

高等専門学校機関別認証評価及び選択的評価事項に係る自己評価書はそれぞれ別に「本文編」、「資料編」を作成し、両面印刷したものを提出してください。ただし、表紙の裏面は白紙としてください。

(2) 自己評価書「本文編」の電子媒体 1部（別添「資料編」は電子媒体不要）

① 自己評価書「本文編」を保存した、CD-R、DVD-R又はUSBメモリーのいずれかを提出してください。提出に際しては、「高等専門学校名」を記入したラベルを貼付してください。また、複数に分けて提出する場合は、「高等専門学校名」とともに保存ファイル名（自己評価書「高等専門学校機関別認証評価」、自己評価書「選択的評価事項に係る評価」）についてもラベル等に記入し、それぞれに貼付してください。

② 電子媒体で提出する自己評価書については、次の点に注意してください。

- ・外字は使用しないでください。
- ・漢字コードは、原則としてJIS第1、第2水準の範囲で使用してください。また、機種に依存する文字は、できる限り使用しないでください。
（例）単位記号、省略文字等
- ・人名等でJIS第1、第2水準にない漢字は、代替文字もしくは、かな書きとしてください。

(3) 別冊資料

上記のほか、以下の資料（評価実施年度における更新版）を提出してください。

なお、自己評価書提出時において更新版を作成中の場合は、その時点での最新版（評価実施年度の前年度版）を提出の上、更新版は完成次第提出してください。

【紙媒体のみで提出する資料】各10部

- ・学校の概要が記載されているもの（学校要覧等）
- ・入学志願者や中学校等に学校を紹介するためのもの（学校案内等）
- ・教育内容、履修方法等を学生に周知するもの（学生便覧、ガイドブック等）
- ・シラバス（印刷物として刊行されていない場合は不要）
- ・時間割（学校のウェブサイトで学外から確認できる場合は不要）

【電子媒体のみで提出する資料】各1部（※(2)の電子媒体に収録可）

- ・キャンパスマップ
- ・建物見取り図

2 提出締切及び提出先

(1) 提出締切 評価実施年度の6月末日必着
6月末日が土日に当たる場合は直前の金曜日必着

(2) 提出先 〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1
独立行政法人大学評価・学位授与機構
評価事業部

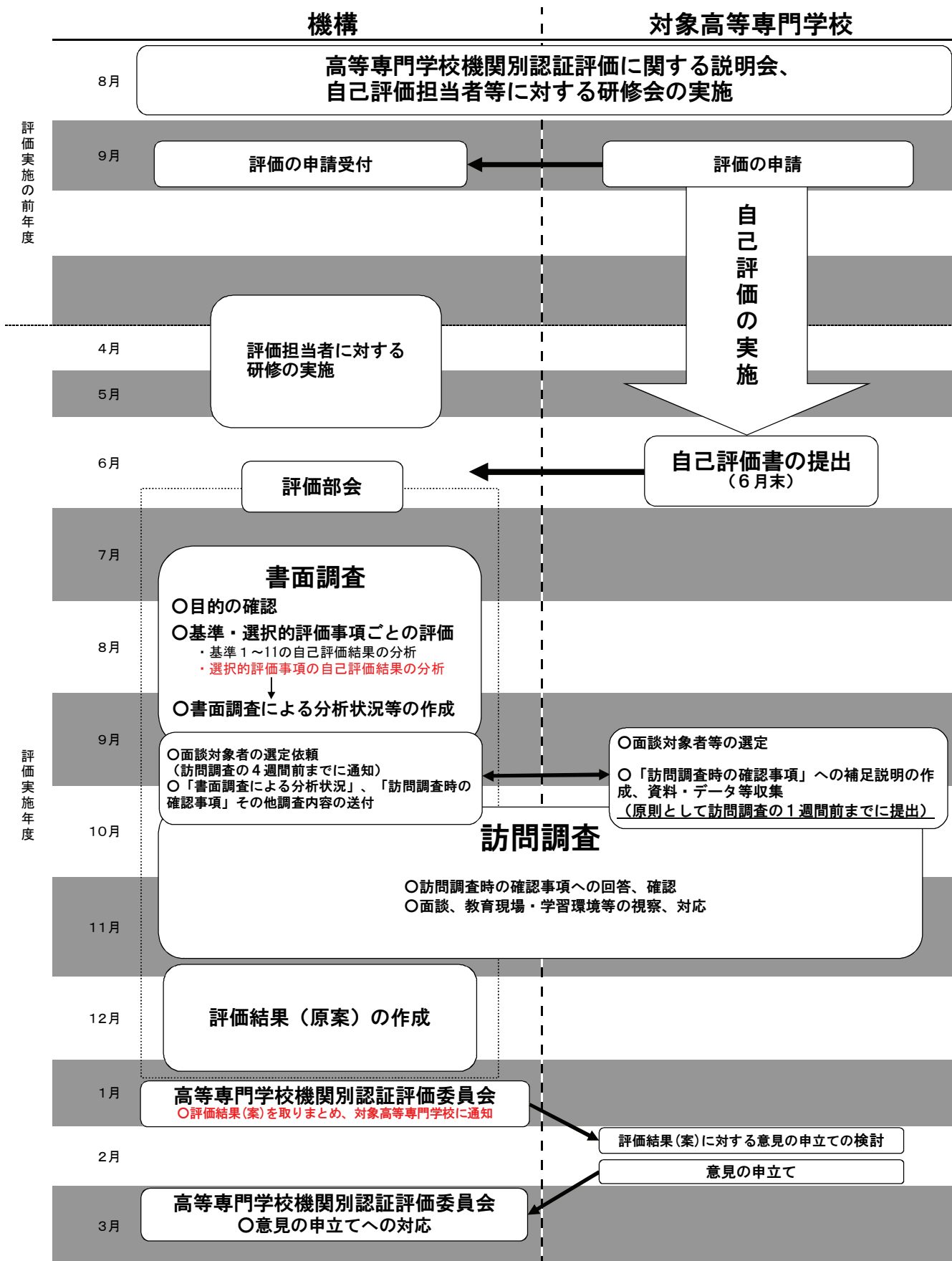
- (3) 配送伝票の品名欄に「高等専門学校機関別認証評価自己評価書在中」と表示してください。

3 その他

- (1) 提出された書類に記述等の不備がある場合には、再提出又は追加提出を求められます。
- (2) 評価報告書に原則として原文のまま掲載される「高等専門学校の現況及び特徴」、「目的」、基準1～11の「自己評価の概要」、「選択的評価事項に係る目的」、選択的評価事項A、Bの「自己評価の概要」について、指定した分量を超える場合には、再提出を求められます。

高等専門学校機関別認証評価のスケジュール

※原則として、下記スケジュールで行いますが、評価作業の進捗状況により変更が生じる可能性があります。



自己評価の根拠となる資料・データ等の例

ここには、基本的な観点に従って分析を行う際に必要と考えられる資料・データ等を観点ごとに示す枠の中に例示してあります。これらはあくまでも例示であり、必ずしも全く同じ資料・データ等を要求するものではありません。各対象高等専門学校の目的や状況等に応じた資料・データ等を用意してください。

基準1 高等専門学校の目的

1-1 高等専門学校の目的（高等専門学校の使命、教育研究活動を実施する上での基本方針、及び、養成しようとする人材像を含めた、達成しようとしている基本的な成果等）が明確に定められており、その内容が、学校教育法に規定された、高等専門学校一般に求められる目的に適合するものであること。また、学科及び専攻科ごとの目的が明確に定められていること。

- 1-1-① 高等専門学校の目的が、それぞれの学校の個性や特色に応じて明確に定められ、その内容が、学校教育法第115条に規定された、高等専門学校一般に求められる目的に適合するものであるか。また、学科及び専攻科ごとの目的も明確に定められているか。

・学則、学科規則、専攻科規則、学校概要、学生便覧、履修要項、学生募集要項、シラバス、ウェブサイト等の該当箇所

1-2 目的が、学校の構成員に周知されているとともに、社会に公表されていること。

- 1-2-① 目的が、学校の構成員（教職員及び学生）に周知されているか。

・教職員の会議や教職員研修等で周知のための取組がなされている場合には、その記録や資料等の該当箇所
 ・授業や新入生ガイダンス、教室等への掲示等での周知の取組に対しては、その記録や資料等の該当箇所
 ・高等専門学校の目的が明記された教職員用の冊子の該当箇所
 ・学生便覧、履修要項等、学生が参照する冊子の該当箇所
 ・教職員及び学生が実際に知っていることを示すデータ（高等専門学校の目的の認知度に関するアンケート等によって示す場合には、その結果等、周知の程度や効果を示すデータ）

- 1-2-② 目的が、社会に広く公表されているか。

・高等専門学校の目的が明記された学校概要等の冊子の該当箇所
 ・高等専門学校の目的が明記されたウェブサイトの掲載箇所
 ・入試説明会、ガイダンス等で公表されている場合には、そのパンフレット等の該当箇所
 ・公表の程度や効果を示すデータ（冊子やパンフレット等の配布先、配布部数、ウェブサイトの利用状況等）等の公表状況が把握できる資料

基準2 教育組織（実施体制）

2-1 学校の教育に係る基本的な組織構成（学科、専攻科及びその他の組織）が、教育の目的に照らして適切なものであること。

2-1-① 学科の構成が、教育の目的を達成する上で適切なものとなっているか。

- ・学科の構成、目的・内容が把握できる資料（学則、学科規則、学校概要等の該当箇所、組織図等）
- ・学校の教育目的と、各学科の目的との適合性・対応関係等を示す資料
- ・学科の構成の適切性を新たに見直した場合には、その審議状況のわかる資料

2-1-② 専攻科を設置している場合には、専攻科の構成が、教育の目的を達成する上で適切なものとなっているか。

- ・専攻科の構成、目的・内容が把握できる資料（学則、専攻科規則、学校概要等の該当箇所、組織図等）
- ・学校の教育目的と、各専攻の目的との適合性・対応関係等を示す資料
- ・専攻科の構成の適切性を新たに見直した場合には、その審議状況のわかる資料

2-1-③ 全学的なセンター等を設置している場合には、それらが教育の目的を達成する上で適切なものとなっているか。

- ・センター等の構成、目的・内容が把握できる資料（学則、学校概要等の該当箇所、組織図等）
- ・教育組織の一部としてのセンター等の役割が把握できる資料（運営規則等）の該当箇所
- ・学校の教育目的（研究活動ではなく、教育活動を展開する上での目的）との適合性、対応関係等を示す資料
- ・全学的な利用に供していることを示す資料

2-2 教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能していること。

2-2-① 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備され、教育活動等に係る重要事項を審議する等の必要な活動が行われているか。

- ・当該事項を審議するための組織の構成図、運営規則等
- ・当該事項の審議内容を記した会議の議事録等

2-2-② 一般科目及び専門科目を担当する教員間の連携が、機能的に行われているか。

- ・一般科目及び専門科目を担当する教員間の連携を示す会議の議事録等
- ・一般科目及び専門科目での科目間連携に関する検討の記録等の該当箇所
- ・一般科目及び専門科目での科目間連携の内容が確認できるシラバス等の該当箇所等

2-2-③ 教員の教育活動を円滑に実施するための支援体制が機能しているか。

- ~~・学級担任制や課外活動における支援体制の組織規定、支援活動の内容等~~
- ・教育支援活動の実績を示す資料（物的、人的、財政的バックアップ等）
- ・教育支援活動についての審議内容を記した会議の議事録等

基準3 教員及び教育支援者等

3-1 教育活動を展開するために必要な教員が適切に配置されていること。

3-1-① 教育の目的を達成するために必要な一般科目担当教員が適切に配置されているか。

- ・一般科目担当教員の配置状況の適切性が把握できる資料(目的に対応した専任教員・非常勤教員別配置状況等)
- ・各教員(非常勤を含む)の専門分野と担当授業科目の適合性が把握できる資料

3-1-② 教育の目的を達成するために必要な各学科の専門科目担当教員が適切に配置されているか。

- ・学科ごとの専門科目担当教員の配置状況の適切性が把握できる資料(目的に対応した専任教員・非常勤教員別配置状況等)
- ・各教員(非常勤を含む)の専門分野と担当授業科目の適合性が把握できる資料

3-1-③ 専攻科を設置している場合には、教育の目的を達成するために必要な専攻科の授業科目担当教員が適切に配置されているか。

- ・専攻ごとの授業科目担当教員の配置状況の適切性が把握できる資料(目的に対応した専任教員・非常勤教員別配置状況等)
- ・各教員(非常勤を含む)の専門分野と担当授業科目の適合性が把握できる資料

3-1-④ 学校の目的に応じて、教員組織の活動をより活発化するための適切な措置が講じられているか。

- ・教員年齢構成や性別構成の一覧及びその実現のために行っている措置や配慮の具体例(例えば、教員の年齢構成の均衡を図るための採用方針、公募要項など)
- ・教育経歴、実務経験を持つ者の採用に関する方針
- ・学位取得に対する支援内容や取得実績
- ・任期制や公募制を導入している場合には、その実施状況及び規則
- ・外国人教員の確保がなされている場合には、その採用状況
- ・優秀教員評価制度を導入している場合には、その概要及び実施状況
- ・女性教員、外国人教員を積極的に採用している場合には、その措置の内容及び関連規定
- ・企業研修をあげている場合は、その成果と具体的な研修支援
- ・校長裁量の予算配分をあげている場合は、具体的な配分実績の状況
- ・ゆとりの時間の確保策(週に一度授業のない日の設定)、サバティカル制度などをあげている場合は、その具体的運用と効果
- ・他の教育機関との間の人事交流がある場合、その実績

3-2 全教員の教育活動に対して、学校による定期的な評価が行われ、その結果を教員組織の見直し等に反映させていること。また、教員の採用及び昇格等に当たって、適切な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされていること。

3-2-① 全教員の教育活動に対して、学校による定期的な評価が行われているか。また、その結果把握された事項に対して教員組織の見直し等、適切な取組がなされているか。

- ・学校長等が行う教員の教育活動に対する定期的な評価の規則、実施例等
- ・授業評価アンケート等を実施している場合には、その実施状況と学校の行う教育活動の評価への反映を示す資料

- ・教育活動に関する教員による自己評価を実施している場合には、その状況と学校が行う「教員の教育能力」の評価への反映を示す資料
- ・評価の結果把握された事項に対する教員組織の見直し等の適切な取組の具体例を示す資料

3-2-② 教員の採用や昇格等に関する基準や規定が明確に定められ、適切に運用がなされているか。

- ・教育上の能力に関する内容を含んだ教員の採用基準、昇格基準
- ・教育上の能力を考慮・評価するプロセスを含んだ教員の採用や昇格に関しての手続き規定
- ・教育上の能力に関する評価の実施状況を把握できる資料

3-3 教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置されていること。

3-3-① 学校における教育活動を展開するために必要な事務職員、技術職員等の教育支援者等が適切に配置されているか。

- ・学生課等事務組織図と役割分担を示す資料や事務職員、技術職員及び司書の配置状況等、教育活動に関わる事務分掌及び教育活動に対する支援内容が把握できる資料
- ・教育活動に関わる技術職員、助手等の具体的な活用状況が把握できる資料
- ・教育支援者等の具体的な人員配置状況が把握できる資料

基準4 学生の受入

4-1 教育の目的に沿って、求める学生像及び入学者選抜の基本方針等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められ、公表、周知されていること。

4-1-① 教育の目的に沿って、求める学生像及び入学者選抜の基本方針等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められ、学校の教職員に周知されているか。また、将来の学生を含め社会に理解されやすい形で公表されているか。

- ・入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）本文
- ・入試説明会時の資料、学校要覧、学生募集要項等、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が記載されている刊行物やウェブサイトの該当箇所
- ・公表状況を示すデータ（刊行物の配布先、配布数、ウェブサイトの利用状況等）
- ・教職員の会議等で周知のための取組がなされている場合には、その議事録等
- ・入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を教職員が実際に知っている状況を把握した資料・データ

4-2 入学者の選抜が、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な方法で実施され、機能していること。

4-2-① 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実際の入学者選抜が適切に実施されているか。

- ・入学者選抜要項
- ・面接要領
- ・入学試験実施状況
- ・過去3年程度の入試問題

4-2-② 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。

- ・入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に記載された学生の資質等について、入学後に学生に対して検証していることを示す資料
- ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を図るための会議等の規則
- ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を図ったことを示す議事録等

4-3 実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっていること。

4-3-① 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか。また、その場合には、これを改善するための取組が行われる等、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。

- ・入学者の状況（入学定員、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数等）を示す資料
- ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を図ったことを示す議事録や改善を図った取組状況等

基準 5 教育内容及び方法

<準学士課程>

5-1 教育課程が教育の目的に照らして体系的に編成されており、その内容、水準が適切であること。

5-1-① 教育の目的に照らして、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。また、授業の内容が、全体として教育課程の編成の趣旨に沿って、教育の目的を達成するために適切なものとなっているか。

- ・ 授業科目の開設状況が教育の目的に照らして、体系的に編成されていることが把握できる資料（一般教育科目・専門教育科目等の分類、年次配当、必修・選択等の別）
- ・ 教育の目的の各項目と開設されている各授業科目等との対応を示す資料
- ・ 教育の目的に照らした授業科目系統図、教育課程概念図
- ・ 授業時間割
- ・ 授業科目案内、履修要項、シラバス等、授業内容が教育の目的を達成するために適切になっていることが把握できる資料等の該当箇所
- ・ 教材、授業で使用したプリント等

5-1-② 教育課程の編成又は授業科目の内容において、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等に配慮しているか。

- ・ 他学科の授業科目の履修を認めている場合には、その実施状況が把握できる資料及びそれに関する規則等
- ・ 他の高等教育機関との単位互換を実施している場合には、その実施状況が把握できる資料及びそれに関する規則、協定書等
- ・ インターンシップによる単位認定を実施している場合には、その実施状況が把握できる資料及びそれに関する規則等（実施要項、提携・受入企業、派遣実績・単位認定実績等）
- ・ 専攻科課程教育との連携を実施している場合には、その実施状況が把握できる資料及びそれに関する規則等
- ・ 補充教育を実施している場合には、その実施状況が把握できる資料（対象者、開設科目、時間割等）
- ・ 国際的に活躍できる技術者の養成を学校の目的に掲げている場合には、外国語の伝達と読解の基礎能力育成に対する取組の把握できる資料

5-2 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。

5-2-① 教育の目的に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導法の工夫がなされているか。

- ・ 学生便覧、シラバス、授業科目案内、履修要項等の該当箇所
- ・ 授業形態の組合せ・バランスが教育の目的に即していることが把握できる資料
- ・ 学習指導法の工夫が教育内容に応じていることを把握できる資料（シラバス、受講学生数、履修学生数及び単位修得学生数が把握できる資料、該当する事項を記した冊子等の資料）

5-2-② 教育課程の編成の趣旨に沿って、シラバスが作成され、事前に行う準備学習、教育方法や内容、達成目標と評価方法の明示等、内容が適切に整備され、活用されているか。

- ・シラバスの具体例
- ・シラバス作成に関する規則
- ・学生や教員に対するアンケート等によるシラバスを活用していることを示すデータの結果等

5-2-③ 創造性を育む教育方法の工夫が図られているか。また、インターンシップの活用が図られているか。

- ・該当科目のシラバス、教材、配付資料等、工夫の具体的な内容がわかる資料
- ・インターンシップを実施している場合には、その実施状況が把握できる資料やそれに関する規則等（実施要項、実施報告書、提携・受入企業、派遣実績・単位認定実績等）

5-3 豊かな人間性の涵養に関する取組が適切に行われていること。

5-3-① 教育課程の編成において、一般教育の充実や特別活動の実施等、豊かな人間性の涵養が図られるよう配慮されているか。また、教育の目的に照らして、課外活動等において、豊かな人間性の涵養が図られるよう配慮されているか。

- ・一般教育や特別活動の実施を示す授業時間割
- ・一般教育や特別活動の実施状況や内容により、豊かな人間性の涵養がなされていることを把握できる資料（テーマ一覧、シラバス、実施時の配付資料等）
- ・ホームルームの実施状況や内容により、豊かな人間性の涵養がなされていることを把握できる資料（実施内容一覧、シラバス、実施時の配付資料等）
- ・学生指導の内容により、豊かな人間性の涵養がなされていることを把握できる資料（学生指導体制、実施要領、学生指導時の配付資料、指導報告書等）
- ・学校行事の実績や計画の内容により、豊かな人間性の涵養がなされていることを把握できる資料（行事一覧表、個々のプログラム、実施要領、活動報告書等）
- ・自治会活動、部活動等の体制や実績により、豊かな人間性の涵養がなされていることを把握できる資料（自治会活動一覧、部活動一覧、顧問の配置、活動時間、活動報告等）

5-4 成績評価や単位認定、進級・卒業認定が適切であり、有効なものとなっていること。

5-4-① 成績評価・単位認定規定や進級・卒業認定規定が組織として策定され、学生に周知されているか。また、これらの規定に従って、成績評価、単位認定、進級認定、卒業認定が適切に実施されているか。

- ・ 成績評価・単位認定規定
- ・ 進級・卒業認定規定
- ・ 成績評価基準、単位認定基準、卒業認定基準
- ・ 成績評価・単位認定及び卒業認定規定が学生に周知されていることを示すものとして、実際に学生が知っている状況を示すデータ及び学生便覧、シラバス、オリエンテーション時の配付資料等の該当箇所
- ・ 実際の成績評価・単位認定方法が明示された資料の該当箇所
- ・ 45時間の学修を1単位とする単位計算方法を導入している場合には、1単位の履修時間は、授業時間以外の学修を合わせて45時間であることを学生に周知させ、そのことを踏まえて評価していることが把握できる資料
- ・ 追試験・再試験実施に関する規定等
- ・ 成績評価が適切に実施されていることを示す資料（例えば、試験答案など）
- ・ 成績評価点の分布表
- ・ 単位認定に係る会議資料
- ・ 進級認定、卒業認定に係る会議資料

＜専攻科課程＞

5-5 教育課程が教育の目的に照らして体系的に編成されており、その内容、水準が適切であること。

5-5-① 教育の目的に照らして、準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっているか。

- ・ 学科・専攻科関連図、学科・専攻科科目関連図
- ・ 履修の手引きの該当箇所
- ・ 学科と専攻科の教育内容の連携の状況が把握できる資料

5-5-② 教育の目的に照らして、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。また、授業の内容が、全体として教育課程の編成の趣旨に沿って、教育の目的を達成するために適切なものとなっているか。

- ・ 授業科目の開設状況が教育の目的に照らして、体系的に編成されていることが把握できる資料（配置、年次配当、必修・選択等の別）
- ・ 教育の目的の各項目と開設されている各授業科目等との対応を示す資料
- ・ 教育の目的に照らした授業科目系統図、教育課程概念図
- ・ 授業時間割
- ・ 授業科目案内、履修要項、シラバス等、授業内容が教育の目的を達成するために適切になっていることが把握できる資料等の該当箇所
- ・ 教材、授業で使用したプリント等

5-5-③ 教育課程の編成又は授業科目の内容において、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等に配慮しているか。

- ・ 他専攻の授業科目の履修を認めている場合には、その実施状況が把握できる資料及びそれに関する規則等
- ・ 他の高等教育機関との単位互換を実施している場合には、その実施状況が把握できる資料及びそれに関する規則、協定書等
- ・ インターンシップによる単位認定を実施している場合には、その実施状況が把握できる資料及びそれに関する規則等（実施要項、提携・受入企業、派遣実績・単位認定実績等）
- ・ 補充教育を実施している場合には、その実施状況が把握できる資料（対象者、開設科目、時間割等）
- ・ 国際的に活躍できる技術者の養成を学校の目的に掲げている場合には、外国語の伝達と読解の基礎能力育成に対する取組の把握できる資料

5-6 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。

5-6-① 教育の目的に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導法の工夫がなされているか。

- ・ 学生便覧、シラバス、授業科目案内、履修要項等の該当箇所
- ・ 授業形態の組合せ・バランスが教育の目的に即していることが把握できる資料
- ・ 学習指導法の工夫が教育内容に応じていることが把握できる資料（シラバス、受講学生数、履修学生数及び単位修得学生数が把握できる資料、該当する事項を記した冊子等の資料）

5-6-② 教育課程の編成の趣旨に沿って、シラバスが作成され、事前に行う準備学習、教育方法や内容、達成目標と評価方法の明示等、内容が適切に整備され、活用されているか。

- ・シラバスの具体例
- ・シラバス作成に関する規則
- ・学生や教員に対するアンケート等によるシラバスを活用していることを示すデータの結果等

5-6-③ 創造性を育む教育方法の工夫が図られているか。また、インターンシップの活用が図られているか。

- ・該当科目のシラバス、教材、配付資料等、工夫の具体的内容がわかる資料
- ・インターンシップを実施している場合には、その実施状況が把握できる資料やそれに関する規則等（実施要項、実施報告書、提携・受入企業、派遣実績・単位認定実績等）

5-7 教養教育や研究指導が教育の目的に照らして適切に行われていること。

5-7-① 教育の目的に照らして、教養教育や研究指導が適切に行われているか。

- ・学生便覧、シラバス、授業科目案内、履修要項等の教養を受ける教育の実施状況が把握できる資料の該当箇所
- ・技術職員などの教育的機能が活用されている場合には、その実施状況により専攻科で修学するにふさわしい研究指導であることが把握できる資料（技術職員の配置状況、研究補助等の内容等）
- ・複数教員による指導を行っている場合には、その指導が専攻科で修学するにふさわしい研究指導であることが把握できる資料（研究指導の基本方針、学生の研究テーマと指導教員一覧等）
- ・研究テーマ決定に対する指導を行っている場合には、その指導状況が専攻科で修学するにふさわしい研究指導であることが把握できる資料（研究テーマ決定に対する指導プロセス等）

5-8 成績評価や単位認定、修了認定が適切であり、有効なものとなっていること。

5-8-① 成績評価・単位認定規定や修了認定規定が組織として策定され、学生に周知されているか。また、これらの規定に従って、成績評価、単位認定、修了認定が適切に実施されているか。

- ・成績評価・単位認定規定
- ・修了認定規定
- ・成績評価基準、単位認定基準、修了認定基準
- ・成績評価・単位認定及び修了認定規定が学生に周知されていることを示すものとして、実際に学生が知っている状況を示すデータ及び学生便覧、シラバス、オリエンテーション時の配付資料等の該当箇所
- ・実際の成績評価・単位認定方法が明示された資料の該当箇所
- ・1単位の履修時間が、授業時間以外の学修を合わせて45時間であることを学生に周知させ、そのことを踏まえて評価していることが把握できる資料
- ・追試験・再試験実施に関する規定等
- ・成績評価が適切に実施されていることを示す資料（例えば、試験答案など）
- ・成績評価点の分布表
- ・単位認定に係る会議資料
- ・進級認定、修了認定に係る会議資料

基準6 教育の成果

6-1 教育の目的において意図している、学生が身に付ける学力、資質・能力や養成しようとする人材像等に照らして、教育の成果や効果が上がっていること。

6-1-① 高等専門学校として、その教育の目的に沿った形で、課程に応じて、学生が卒業（修了）時に身に付ける学力や資質・能力、養成しようとする人材像等について、その達成状況を把握・評価するための適切な取組が行われているか。

- ・達成状況を把握・評価するための委員会等の組織体制、活動状況が把握できる規則、議事録等
- ・学生が卒業（修了）時まで身に付ける学力や資質・能力、養成する人材像等の各項目ごとに、達成状況の把握方法が確認できる資料

6-1-② 各学年や卒業（修了）時等において学生が身に付ける学力や資質・能力について、学校としてその達成状況を評価した結果から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

- ~~・単位修得率、成績評価の分布表、進級率、留年・休学・退学状況、卒業率、進学率、就職率~~
- ~~・資格取得者数~~
- ~~・卒業研究、卒業制作~~
- ~~・各種コンペティション等の受賞数、発表内容~~
- ~~（いずれの資料においても、教育の成果や効果が上がっていることを、学校の掲げる教育目的に関する学力や資質・能力に照らして把握できることが必要。）~~
- ・個々の学生の達成状況が確認できるデータ

6-1-③ 教育の目的において意図している養成しようとする人材像等について、就職や進学といった卒業（修了）後の進路の状況等の実績や成果から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

- ・就職率、進学率、全卒業（修了）生に対する就職者・進学者・その他・進路未決定者等の割合など、教育の成果や効果が上がっていることを示す資料
- ・就職先（産業別・職業別等）、進学先（教育機関別、専門分野別等）などの内容が教育の成果や効果と整合適合していることが把握できる資料
（いずれの資料においても、教育の成果や効果が上がっていることを、学校の掲げる教育目的に関する養成する人材像に照らして把握できることが必要。）

6-1-④ 学生が行う学習達成度評価等、学生からの意見聴取の結果から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

- ・学生が行う学習達成度に関するアンケート調査資料及びその結果
- ・学生による授業評価や満足度評価の場合には、その授業ごとに達成すべき内容の達成度評価ではなく、卒業（修了）時に身に付ける学力や資質・能力の達成度の評価に関する項目についての該当箇所（様式及び回答結果等）

6-1-⑤ 卒業（修了）生や進路先等の関係者から、卒業（修了）生が在学時に身に付けた学力や資質・能力や、卒業（修了）後の成果等に関する意見を聴取する等の取組を実施しているか。また、その結果から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

- 卒業（修了）生、進路先等に意見を聴取する機会（懇談会、アンケート、インタビュー等）の概要を示す資料（聴取対象者、実施時期、聴取内容及び結果等）
- 卒業（修了）生が在学時に身に付けた学力や資質・能力や卒業（修了）後の成果等に関する意見を聴取する取組の実施状況が把握できる資料
- 学力や資質・能力の内容項目ごとに、聴取した意見の結果が把握できる資料

基準 7 学生支援等

7-1 学習を進める上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制が整備され、機能していること。また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能していること。

7-1-① 学習を進める上でのガイダンスが整備され、適切に実施されているか。また、学生の自主的学習を進める上での相談・助言を行う体制が整備され、機能しているか。

- ・ガイダンスの実施及び内容を把握できる資料（スケジュール、担当者、対象者別実施回数、参加状況、学習を進める上での適切なガイダンスとなっていることを示す配付資料等）
- ・オフィスアワーの実施状況（オフィスアワー一覧表等）
- ・電子メールによる相談・助言体制
- ・学習相談、助言の実施体制の学生への周知状況（刊行物、プリント、ウェブサイト等の該当箇所）
- ・学習相談、助言の実施体制の利用実績

7-1-② 自主的学習環境及び厚生施設、コミュニケーションスペース等のキャンパス生活環境等が整備され、効果的に利用されているか。

- ・学生の自主的学習に供されている各施設・設備の整備状況（部屋数、収容人数、机、パソコン、工作機器等の台数等）、利用計画、利用規定、学生に対する利用案内及びその配付状況等
- ・学生の自主的学習への配慮（図書館の延長開館、講義室の利用許可等）が把握できる資料（利用規定等）
- ・各施設・設備の利用状況、利用実績（学生の入室数、工作機器等の利用件数、利用延べ時間等）

7-1-③ 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握されているか。また、資格試験や検定試験の受講、外国留学のための支援体制が整備され、機能しているか。

- ・学習支援に関する学生のニーズを汲み上げる制度が把握できる資料
- ・学生との懇談会が実施されている場合には、内容報告等における学習支援に関する学生のニーズを把握している該当箇所
- ・意見投書箱等が設置されている場合には、設置状況、学習支援に関する意見例等
- ・資格試験や検定試験のための補習授業や学習相談を行っている場合には、担当教員、受講者数、実施科目、対象者別実施回数、使用教材、配付プリント等
- ・資格試験・検定試験の受験者数、合格者数等
- ・資格取得による単位修得の認定を行っている場合には、関連規則、単位認定実績等
- ・外国留学に関する手続きの支援、単位認定、交流協定の締結等を行っている場合には、内容が把握できる資料や関連規則、留学実績等

7-1-④ 特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援体制が整備されているか。また、必要に応じて学習支援が行われているか。

- ・留学生指導教員やチューターの配置表、指導・支援内容一覧、指導マニュアル等
- ・特別カリキュラム、特別クラスの編成状況、補習授業の開設・実施状況（担当教員、実施科目、対象者別実施回数、使用教材、受講者数等）
- ・留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）
- ・編入学生に対する入学前の指導を行っている場合には、指導スケジュール、指導内容が記載された資料等
- ・編入学生に対して入学後に補習授業や学習相談等を行っている場合には、実施状況及びその内容（担当教員、実施科目、対象者別実施回数、使用教材等）
- ・障害のある学生に対する支援体制（ノートテーカー等）の整備状況
- ・社会人学生に対する情報提供（電子メール、ウェブサイト等）
- ・社会人学生に対する学習相談の制度が把握できる資料（オフィスアワー一覧表、配付プリントの該当箇所等）

7-1-⑤ 学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能しているか。

- ・課外活動に関する規定、組織図
- ・課外活動に対する支援の活動内容一覧表、担当顧問一覧、顧問会議資料
- ・運営費の収支決算書
- ・支援活動の実績を示す資料
- ・施設の整備状況（学生会室、サークル棟等）

7-2 学生の生活や経済面並びに就職等に関する相談・助言、支援体制が整備され、機能していること。

7-2-① 学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言を行う体制が整備され、機能しているか。

- ・生活指導の体制、指導内容、組織図、関連規則、委員会資料等
- ・主事、委員会等による指導の内容
- ・学生相談室、保健センター等の概要（設置規則、相談員、カウンセラーの配置、学生に対する相談の案内等）
- ・各種ハラスメント等の相談取扱要項
- ・相談・助言の体制の利用実績、相談・対応例
- ・奨学金、授業料減免、特待生、緊急時の貸与等の制度の概要、規則、学生・保護者向けの案内、実績等

7-2-② 特別な支援が必要と考えられる学生への生活支援等を適切に行うことのできる状況にあるか。また、必要に応じて生活支援等が行われているか。

- ・留学生指導教員やチューターの配置表、指導・支援内容一覧等
- ・留学生に対する施設・設備の整備状況
- ・留学生に対する生活支援の状況
- ・障害のある学生に対する支援状況
- ・障害のある学生に対するチューターの配置状況

7-2-③ 学生寮が整備されている場合には、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。

- ・ 学生寮が勉学の場として機能していることを示す資料
- ・ 学生寮の設置状況（料金体系を含む）、入寮状況、施設・設備の整備状況等
- ・ 学生寮の管理組織に係る規定、組織図
- ・ 学生寮の規則、寮内の自治組織の概要・規定
- ・ 学生寮内の自習室・談話室等の整備状況（設置・配置状況、面積、机の数、利用時間、利用規定等）
- ・ 自習時間の設定状況
- ・ 欠課・欠席の多い寮生に対する指導内容、在室点検簿

7-2-④ 就職や進学等の進路指導を行う体制が整備され、機能しているか。

- ・ 学級担任や学年主任等の進路指導マニュアル、ガイダンス実施状況（スケジュール、対象者別実施回数、配付資料等）
- ・ 進路指導に関する委員会等の規定、組織図、会議資料
- ・ 進路指導室等の概要（担当者、指導内容、学生に対する利用案内、対応時間等）
- ・ 学生や保護者に対する進路に係る説明会・ガイダンス等の実施状況（スケジュール、対象者別実施回数、配付資料等）
- ・ 企業訪問スケジュール、訪問先、訪問件数

基準 8 施設・設備

8-1 学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全管理の下に有効に活用されていること。

8-1-① 学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程の実現にふさわしい施設・設備が整備され、適切な安全管理の下に有効に活用されているか。また、施設・設備のバリアフリー化や環境面への配慮がなされているか。

- ・各施設・設備の整備状況（施設配置図、部屋数、面積、収容人数、開館時間、パソコンや工作機器等の数）、整備計画
- ・各種施設のパンフレット（設置・利用目的がわかる部分）
- ・利用計画・利用状況（講義室稼働率等）
- ・施設・設備を管理するための組織体制、業務内容等
- ・設備使用に関する規定、設備利用の手引き等適切な安全管理が行われていることが把握できる資料
- ・バリアフリー化や環境面への配慮に関する施設・設備の整備状況、利用状況又は整備計画、利用計画等のバリアフリー化や環境面への配慮の取組を示す資料

8-1-② 教育内容、方法や学生のニーズを満たすICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。

- ・ICT環境の整備状況（パソコン等接続状況、学内LAN構成図、ネットワーク端末一覧、授業内外で学生の利用可能なパソコンの台数、情報処理センターの組織規定等）
- ・セキュリティポリシー
- ・セキュリティシステムの概要、ICT環境の管理体制及び業務内容、講習会
- ・利用規則、利用する授業一覧、授業での具体的な利用を示す資料（シラバスの該当箇所等）、自主学習での利用状況（利用人数、利用延べ時間）

8-2 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。

8-2-① 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。

- ・図書等の資料（ソフトウェア、視聴覚教材等を含む。）の内訳、冊数等のデータ
- ・図書等の収集、整理方針、受入図書の決定方法、受入実績
- ・利用実績（図書等貸出数、図書館入館者数）等
- ・図書館の利用促進に向けた取組を行っている場合には、その内容が把握できる資料

基準9 教育の質の向上及び改善のためのシステム

9-1 教育の状況について点検・評価し、その結果に基づいて改善・向上を図るための体制が整備され、取組が行われており、機能していること。

9-1-① 教育の状況について、教育活動の実態を示すデータや資料が適切に収集・蓄積され、評価を適切に実施できる体制が整備されているか。

- ・教育活動の実態を示す資料・データ等の収集体制が把握できる資料
- ・教育活動の実態を示す資料・データ等の蓄積状況が把握できる資料
- ・自己点検・評価報告書の該当箇所
- ・評価の実施体制が把握できる資料（組織構成図、関連規則等）

9-1-② 学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果をもとに教育の状況に関する自己点検・評価が、学校として策定した基準に基づいて、適切に行われているか。

- ・学校の構成員からの意見聴取の実施状況（実施方法、回数、対象者等）、意見内容の例、アンケート結果集計表等に基づく、点検・評価の状況を示す資料
- ・学校の構成員からの意見聴取が行われていることを示すものとして、報告書としてまとめられている場合には、その報告書の該当箇所
- ・学校の構成員の意見が反映されている自己点検・評価報告書等の該当箇所
- ・学外関係者（卒業（修了）生、進学先、就職先等）からの意見聴取の実施状況（実施方法、回数、対象者等）、意見内容の例、アンケート結果集計表等に基づく、点検・評価の状況を示す資料
- ・学外関係者の意見がまとめられている場合には、その報告書の該当箇所
- ・学外関係者の意見が反映されている自己点検・評価報告書、外部評価報告書等の該当箇所

9-1-③ 各種の評価の結果を教育の質の向上、改善に結び付けられるような組織としてのシステムが整備され、教育課程の見直し等の具体的かつ継続的な方策が講じられているか。

- ・各種委員会等の体制及び活動状況（組織相互関連図、関係諸規則、議事録、活動記録等）
- ・評価結果を改善策に結び付ける仕組みを把握できる資料（点検項目、評価結果、分析内容等）、活動実績等
- ・具体的かつ継続的な方策が講じられていることを具体的に示す資料（具体例を挙げて、評価結果が改善に結び付いていることを示す資料）

9-1-④ 個々の教員は、評価結果に基づいて、それぞれの質の向上を図るとともに、授業内容、教材、教授技術等の継続的改善を行っているか。また、個々の教員の改善活動状況を、学校として把握しているか。

- ・評価結果の教員へのフィードバック状況（通知時期、方法、内容等）等、改善のための評価活動が機能していることを把握できる資料
- ・具体的改善方策の内容等（カリキュラム・授業方法・シラバス等の改善例、授業改善計画、評価結果と改善方策の対応表等）
- ・教員の改善活動報告書等、学校として把握していることを示す資料

9-1-⑤ 研究活動が教育の質の改善に寄与しているか。

- ・教育方法の改善についての研究における成果を授業で実践した具体例等
- ・各教員の専門分野における研究成果を授業に取り入れ、教育の質の改善を行った具体例等
- ・学生を交えて研究を行うなど、各教員の専門分野における研究過程を教育の質の改善に役立てている具体例等

9-2 教員及び教育支援者等の資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。

9-2-① ファカルティ・ディベロップメントが、適切な方法で実施され、組織として教育の質の向上や授業の改善に結び付いているか。

- ・教員のニーズを汲み上げる制度が把握できる資料
- ・ファカルティ・ディベロップメントに関する委員会等の組織関係図、役割と責任が把握できる資料、関連規則
- ・ファカルティ・ディベロップメント（教育方法等の研究・研修、教員相互の授業見学等）の内容・方法及び実施状況（教員の参加状況、配付資料等）
- ・ファカルティ・ディベロップメントに関する報告書等の該当箇所等、教育の質の向上や授業の改善に結び付いたことが把握できる資料
- ・具体的改善方策の内容（カリキュラムや授業方法改善例等）

9-2-② 教育支援者等に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか。

- ・教育支援者等に対する研修に関する委員会等の組織関係図、役割と責任が把握できる資料、関連規則
- ・教育支援者等に対する研修の内容・方法及び実施状況（教育支援者等の参加状況、配付資料等）

基準10 財務

10-1 学校の目的を達成するために、教育研究活動を将来にわたって適切かつ安定して遂行できるだけの財務基盤を有していること。

10-1-① 学校の目的に沿った教育研究活動を安定して遂行できる資産を有しているか。また、債務が過大ではないか。

・過去5年間程度の貸借対照表、財産目録、予算書・決算書等の財務諸表、資産の保有状況一覧等

10-1-② 学校の目的に沿った教育研究活動を安定して遂行するための、経常的収入が継続的に確保されているか。

・過去5年間程度の収入（運営費交付金、授業料、入学料、検定料等）の確保等の状況

10-1-③ 学校の目的を達成するために、外部の財務資源の活用策を策定し、実行しているか。

・過去5年間程度の収入（~~科学研究費補助金~~科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）、受託研究、共同研究、受託試験、奨学寄附金、同窓会等からの寄付金等の外部の財務資源）の確保策や実績等の状況

10-2 学校の目的を達成するための活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画等が策定され、履行されていること。

10-2-① 学校の目的を達成するための活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画等が策定され、関係者に明示されているか。

・収支計画及びその審議・決定状況、公表状況を把握できる資料（議事録の該当箇所）
・予算配分方針・基準、予算配分額等を把握できる資料

10-2-② 収支の状況において、過大な支出超過となっていないか。

・過去5年間程度の損益計算書、消費収支計算書

10-2-③ 学校の目的を達成するため、教育研究活動（必要な施設・設備の整備を含む）に対し、適切な資源配分がなされているか。

・資源配分に係る方針及びその審議・策定状況
・教育経費、研究経費、施設設備費の配分資料
・校長裁量経費等の戦略的経費を設定している場合は、その資源配分が把握できる資料

10-3 学校の財務に係る監査等が適正に実施されていること。

10-3-① 学校を設置する法人の財務諸表等が適切な形で公表されているか。

・財務諸表の公表状況が把握できる資料（刊行物、ウェブサイトの掲載箇所等）

10-3-② 財務に対して、会計監査等が適正に行われているか。

- ・外部監査、学内監査、**国立**高等専門学校間の相互監査等各々の会計監査に係る監査報告書
- ・学内会計監査規則 (~~科学研究費補助金~~**科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金)** の監査規則も含む)

基準11 管理運営

11-1 学校の目的を達成するために必要な管理運営体制及び事務組織が整備され、機能していること。

11-1-① 学校の目的を達成するために、校長、各主事、委員会等の役割が明確になっており、校長のリーダーシップの下で、効果的な意思決定が行える態勢となっているか。

- ・校長、各主事、委員会等の体制が把握できる資料（構成、役割・責任、組織等相互関連図、関連諸規則等）
- ・企画・立案から意思決定までの過程が把握できる資料

11-1-② 管理運営の諸規程が整備され、各種委員会及び事務組織が適切に役割を担い、効果的に活動しているか。また、危機管理に係る体制が整備されているか。

- ・関係諸規定及びその整備状況が把握できる資料
- ・管理運営に関する委員会、事務組織の体制、危機管理体制が把握できる資料（構成、役割・責任、組織等相互関連図、関連諸規則等）

11-2 学校の目的を達成するために、高等専門学校の活動の総合的な状況に関する自己点検・評価が行われ、その結果が公表されていること。また、その結果を受け、改善に結び付けられるようなシステムが整備され、有効に運営されていること。

11-2-① 自己点検・評価が学校として策定した基準に基づいて高等専門学校の活動の総合的な状況に対して行われ、かつ、その結果が公表されているか。

- ・自己点検・評価の実施体制、実施状況、点検項目一覧、関連規則
- ・自己点検・評価報告書
- ・自己点検・評価の結果が掲載された刊行物の該当箇所及び配布状況
- ・自己点検・評価の結果が掲載されたウェブサイトの該当箇所等

11-2-② 自己点検・評価の結果について、外部有識者等による検証が実施されているか。

- ・自己点検・評価の外部有識者による検証が把握できる資料（実施要領、実施日程、外部評価委員名簿等）
- ・自己点検・評価の外部検証結果が掲載された刊行物の該当箇所
- ・自己点検・評価の外部検証結果が掲載されたウェブサイトの該当箇所等

11-2-③ 評価結果がフィードバックされ、高等専門学校の目的の達成のための改善に結び付けられるようなシステムが整備され、有効に運営されているか。

- ・評価結果のフィードバック状況が把握できる資料
- ・各種委員会等のシステム及び活動状況が把握できる資料（組織相互関連図、役割と責任、関係諸規則、議事録、活動記録等）
- ・改善方策・事例の具体的内容

11-3 学校の目的を達成するために、外部有識者等の意見が適切に管理運営に反映されていること。また、外部の教育資源を積極的に活用していること。

11-3-① 外部有識者等の意見や第三者評価の結果が適切な形で管理運営に反映されているか。

- ・外部評価の実施体制、実施状況が把握できる資料
- ・懇談会や企業訪問等で意見を把握している場合には、意見内容と聴取機会が確認できる資料
- ・外部有識者の意見や第三者評価の結果を管理運営に反映させる体制（フィードバックの方法、組織関係図、関連規則等）
- ・管理運営に具体的に反映された内容が把握できる資料

11-3-② 学校の目的を達成するために、外部の教育資源を積極的に活用しているか。

- ・高等教育機関の間で締結している学生・教員交流など、外部の機関の持つ教育力の活用例
- ・地域の高等教育機関同士の協力協定
- ・産学連携関係の共同研究や共同教育の実施例
- ・地域や同窓会等の有識者や経験者による授業、実習、課外活動等の指導支援
- ・地域にある教育設備（図書館、博物館等）、体育施設の利用及び支援
- ・地域の催事等を含むコミュニティとの交流体験実施例

11-4 高等専門学校における教育研究活動等の状況やその活動の成果に関する情報を広く社会に提供していること。

11-4-① 高等専門学校における教育研究活動等の状況や、その活動の成果に関する情報を広くわかりやすく社会に発信しているか。

- ・高等専門学校の教育研究活動の状況や成果に関する情報を掲載した刊行物の該当箇所
- ・高等専門学校の教育研究活動の状況や成果に関する情報を掲載したウェブサイトの掲載箇所

(選択的評価事項)

選択的評価事項A 研究活動の状況

A-1 高等専門学校の目的に照らして、必要な研究体制及び支援体制が整備され、機能しており、研究の目的に沿った活動の成果が上がっていること。

A-1-① 高等専門学校の研究の目的に照らして、研究体制及び支援体制が適切に整備され、機能しているか。

- ・ 研究に携わる教員等の配置状況
- ・ 研究テーマ一覧
- ・ 教員個人による研究に対する支援体制、内容が把握できる資料
- ・ 研究支援組織（事務組織等）との連携体制及びその機能状況
- ・ 共同研究等、他研究機関や地域社会との連携体制及びその機能状況

A-1-② 研究の目的に沿った活動の成果が上げられているか。

- ・ 地域社会との連携・協力の実績
- ・ 技術・製品等の創出・改善の実績、特許等出願状況、特許等取得の実績
- ・ 教材開発、教科書執筆等の実績
- ・ 論文発表、学会・研修会での発表等の実績
- ・ 外部資金応募状況
- ・ 外部資金獲得状況
- ・ 各種受賞等の実績
- ・ 研究活動状況や成果についての新聞記事等
- ・ 研究成果としての研究報告書、発表論文など

A-1-③ 研究活動等の実施状況や問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。

- ・ 各種委員会等のシステム及び活動状況（組織関係図、関係諸規程、議事録、活動記録、分析内容等）
- ・ 教職員や学生の意見を汲み上げる制度が把握できる資料
- ・ 外部評価報告書又は自己点検・評価報告書の該当箇所
- ・ 具体的改善事例の内容、実績等

選択的評価事項B 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況

B-1 高等専門学校の目的に照らして、正規課程の学生以外に対する教育サービスが適切に行われ、成果を上げていること。

B-1-① 高等専門学校の教育サービスの目的に照らして、公開講座等の正規課程の学生以外に対する教育サービスが計画的に実施されているか。

- ・教育サービスの目的が記載されている規定等の該当箇所
- ・教育サービスの目的を達成するための計画や具体的方針が定められている資料等の該当箇所
- ・教育サービスの目的及びその目的を達成するための計画や具体的方針が公開されている刊行物、ウェブサイト等の該当箇所
- ・目的と計画の周知状況が把握できる資料

B-1-② サービス享受者数やその満足度等から判断して、活動の成果が上がっているか。また、改善のためのシステムがあり、機能しているか。

- ・活動別参加者数
- ・参加者・利用者アンケート等、活動の成果を把握できる資料
- ・活動の成果を検証し、教育サービスの改善を図るための体制等、組織関係図及び議事録等
- ・具体的な改善事例の内容、実績等

2. 選択的評価事項に係る評価

選択的評価事項に係る評価

評価報告書

〇〇高等専門学校

平成〇〇年 月

独立行政法人大学評価・学位授与機構

〇〇高等専門学校

I 選択的評価事項に係る評価結果

〇〇高等専門学校は、大学評価・学位授与機構が定める「選択的評価事項A 研究活動の状況」において、目的の達成状況が〇〇〇〇〇。

選択的評価事項Aにおける主な優れた点として、次のことが挙げられる。

○・・・・・・・・・・・・・・・・

選択的評価事項Aにおける主な改善を要する点として、次のことが挙げられる。

○・・・・・・・・・・・・・・・・

〇〇高等専門学校は、大学評価・学位授与機構が定める「選択的評価事項B 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」において、目的の達成状況が〇〇〇〇〇。

・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・

-1-

〇〇高等専門学校

II 事項ごとの評価

選択的評価事項A 研究活動の状況

A-1 高等専門学校の目的に照らして、必要な・・・

【評価結果】

目的の達成状況が〇〇〇〇〇

(評価結果の根拠・理由)

・・・・・・・・・・・・・・・・

【優れた点】・・・・・・・・・・・・・・・・

【改善を要する点】・・・・・・・・・・・・・・・・

-2-

(以下、参考資料として添付)

〇〇高等専門学校

選択的評価事項B 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況

B-1 高等専門学校の目的に照らして、正規課程の・・・

【評価結果】

目的の達成状況が〇〇〇〇〇

(評価結果の根拠・理由)

・・・・・・・・・・・・・・・・

【優れた点】・・・・・・・・・・・・・・・・

【改善を要する点】・・・・・・・・・・・・・・・・

-〇-

〇〇高等専門学校

III 意見の申立て及びその対応

1)申立ての内容	2)申立てへの対応
・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・

-〇-

〇〇高等専門学校

i 高等専門学校の現況及び特徴

1 現況	2 特徴
(1) 高等専門学校名	・・・・・・・・・・・・・・・・
(2) 所在地	・・・・・・・・・・・・・・・・
(3) 学科等の構成	・・・・・・・・・・・・・・・・
(4) 学生数及び教員数	・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・

※高等専門学校機関別認証評価と同じ現況及び特徴を転載します。

-〇-

〇〇高等専門学校

ii 目的

1 ・・・・・・・・・・・・・・・・

2 ・・・・・・・・・・・・・・・・

・

・

(学科・専攻科等ごとの目的)

※高等専門学校機関別認証評価と同じ目的を転載します。

-〇-

〇〇高等専門学校

iii 選択的評価事項に係る目的

選択的評価事項A 「研究活動の状況」に係る目的

(1) ・・・・・・・・・・・・・・・・

(2) ・・・・・・・・・・・・・・・・

・

・

選択的評価事項B 「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」に係る目的

(1) ・・・・・・・・・・・・・・・・

(2) ・・・・・・・・・・・・・・・・

・

・

-〇-

〇〇高等専門学校

iv 自己評価の概要

選択的評価事項A 研究活動の状況

・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・

選択的評価事項B 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況

・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・

-〇-

注1) は、対象高等専門学校から提出された自己評価書等から原則として原文のまま転載します。

注2) 選択的評価事項A、Bの評価を実施した場合のものです。

注3) 本評価報告書様式は今後若干の変更が生じる可能性があります。

独立行政法人

大学評価・学位授与機構

〒187-8587

東京都小平市学園西町1-29-1

TEL/042-307-1660

URL/http://www.niad.ac.jp/